

# 令和5年度『地域健康サポーター実習

## 全体報告会・交流会』を紹介します。



香川県立保健医療大学 HP での紹介

4月5日に「地域健康サポーター実習全体報告会・交流会」を開催しました。新3年生の報告プログラム数は19と昨年と比較し大幅に増えました。高松市こども未来部子育て支援課、セカンドハンド、丸亀ハーフマラソン救護ボランティアの活動紹介やボランティア募集もしていただきました。報告会のまとめに地域でパラスポーツ体験イベントや人権学習等を実践されている一般社団法人 IINE 代表田村治仁さんから、受け入れ地域を代表し「体験からの学びを積み重ねる大切さと体験は必ず将来につながる」とメッセージを頂きました。交流会ブースでは、新3年生と1・2年生の対面での活動紹介を行いました。ここでは、香川県健康福祉部障害福祉課による県障害者スポーツ大会やアートボランティア養成講座について紹介いただきました。学生の学びは、地域で行われている活動や事業は当事者の方たちの暮らしや生活に欠かせないものであること、災害支援・訪問入浴・居場所づくり、歯科医師・歯科衛生士・民生委員・ボランティア等、様々な地域で暮らす人々と支援者との出会いを得ていました。一方で、学生の学習者としての態度、活動の安全や継続の方法等、多くの課題も見えてきました。本実習が始まり、今年で3年目になりました。学びと成長の過程にある学生たちを、地域の健康を支えるチームの一員として受け入れてくださった全ての関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

岡田麻里（地域健康サポーター実習担当）



全体報告会の様子：新3年生が中心になり企画・運営



1年生と4年生も参加しました



一般社団法人 IINE 代表の田村さんからメッセージ

「体験は忘れない。共に活動したことは将来につながる」



交流会・3年生から直接話をきく1・2年生